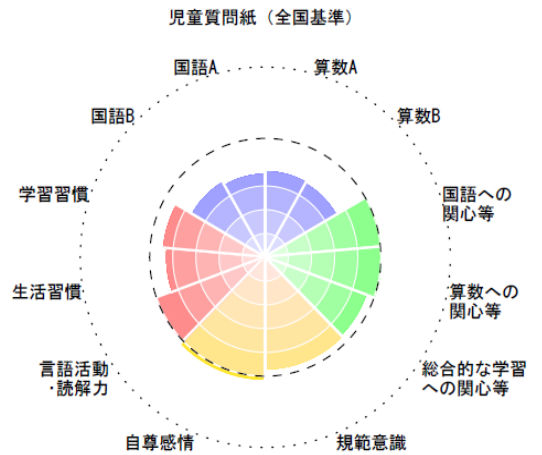
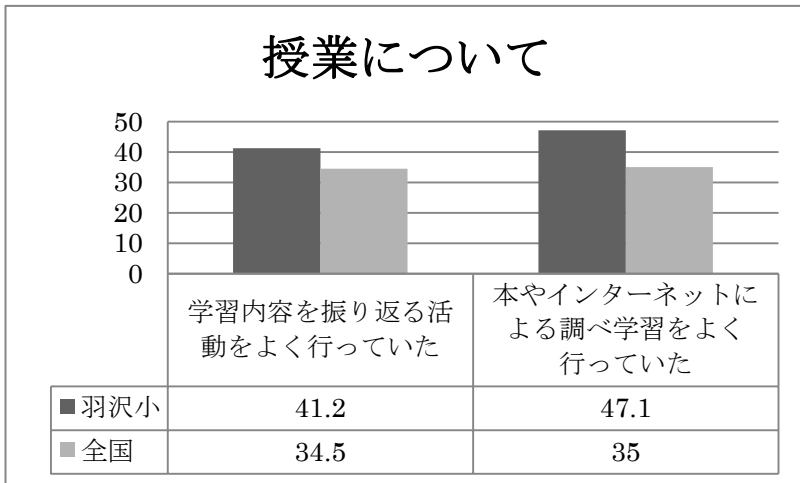


平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果報告

【実施日：平成 26 年 4 月 対象 6 年生】

[概要]

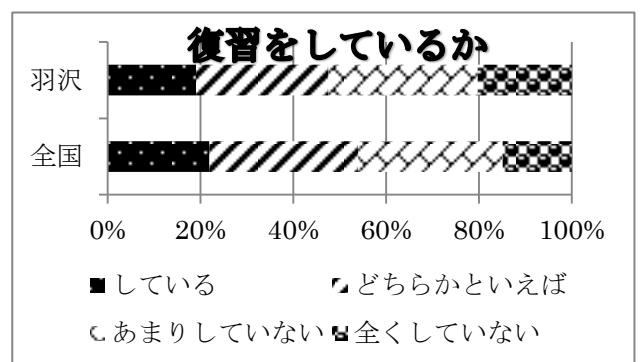
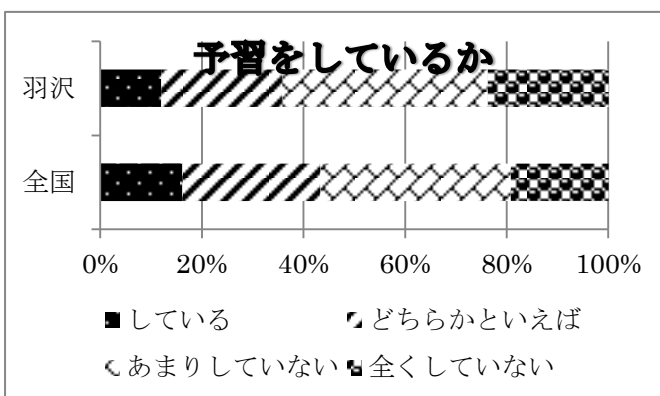
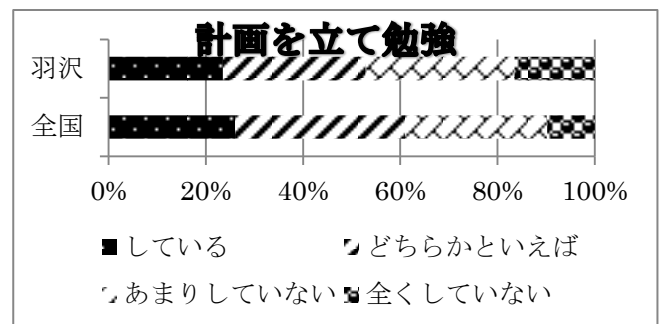
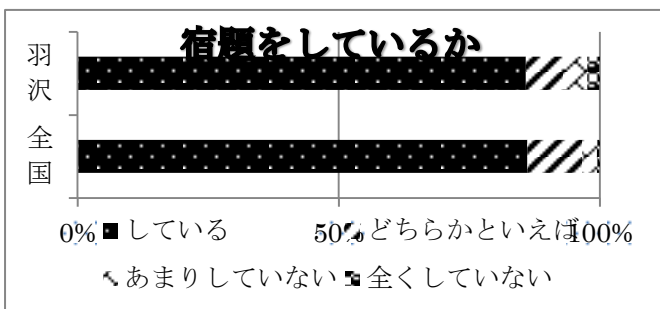
全国の基準と本校を比べたグラフが右のグラフです。教科への関心は全国平均と同じです。しかし、学力テストの結果や習慣に関する項目は、全国平均を下回る結果になりました。



[学習習慣]

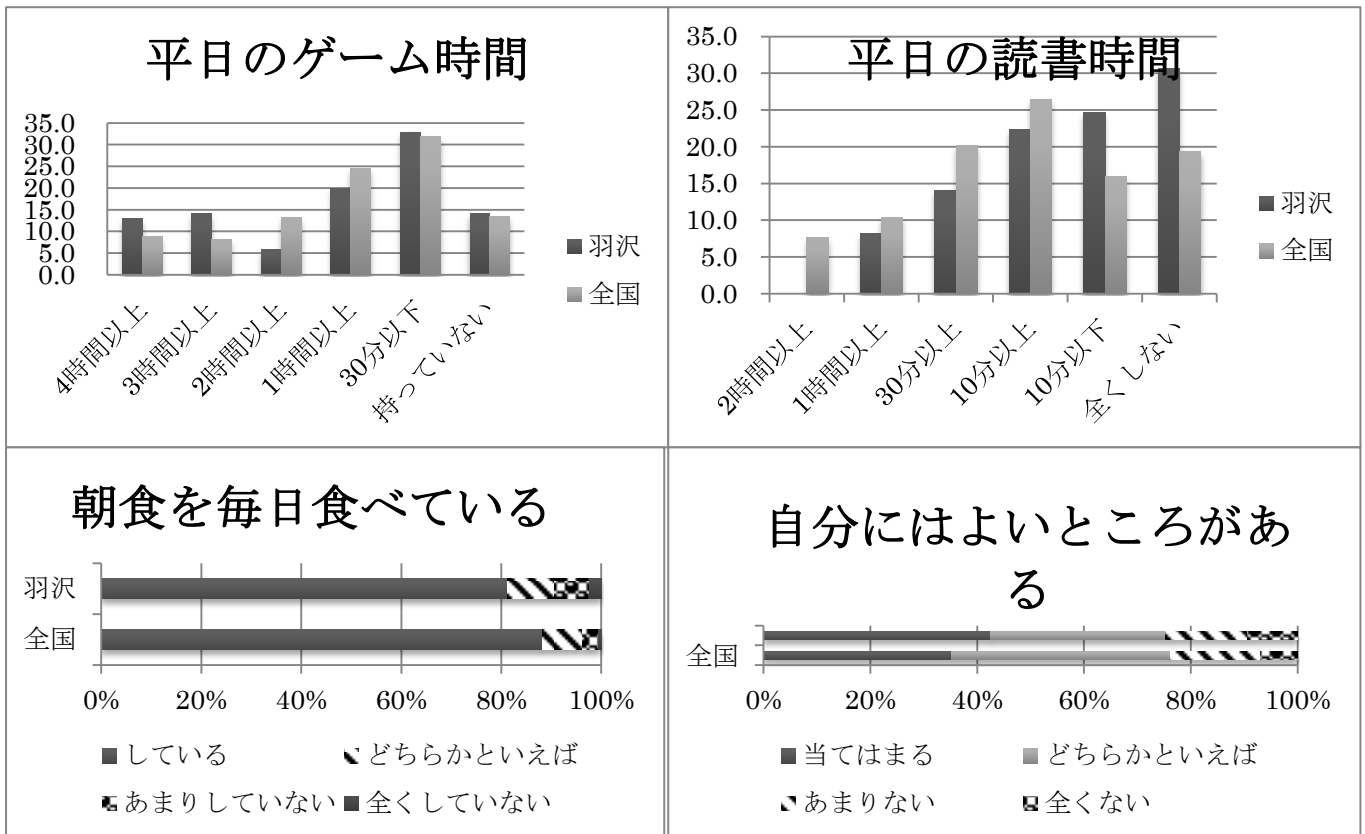
「家で、学校の宿題をしていますか」の問いに対しては、93%の児童が「している」「どちらかといえばしている」で回答しており、全国平均とはほぼ同じです。しかし、「家で計画を立てて勉強しているか」については、16.5%の児童が「全くしていない」と回答しています。また、予習に関しては、63.5%が、復習に関しては、51.8%が「全くしていない」「どちらかといえばしていない。」と答えており、宿題以外の家庭学習を行っていない様子が伺えます。

学習の基本は学校での授業と家庭での学習です。自分の得意不得意を考えながら計画的に予習・復習を積み重ねることが学力向上につながります。



[生活習慣]

全国と比べて高かったのが「平日のゲーム時間(スマホや携帯でのゲームを含)」です。ゲームを1日に「4時間以上」「3時間以上」している割合が27%(全国より10%高)となっています。家での読書を「全くしない」児童が30%に上り、家庭での時間の多くを、ゲームやスマホの利用に費やしていることが考えられます。また、「朝食を毎日食べていますか」については、「あまり(食べていない)」「全く(食べていない)」が1割近くいます。家庭で生活の約束を決めることが、よい生活習慣と自律心を育てることにつながります。



[自尊感情・規範意識]

「自分にはよいところがある」の質問に対しては、「ある」と答えた児童が全国を上回り、自分を肯定的に考えている児童が多いことがわかります。「将来の夢や目標を持っている」が全国を下回りましたが、「人の気持ちが分かる人間になりたい」「人の役に立つ人間になりたい」など全国よりも高い割合になっています。しかし、「学校の決まりを守っている」「友達との約束を守っている」ということに関しては全国を下回っており、規範意識の低さが気になります。よい人になりたいという思いがありながら、決まりや約束を守ろうとする意識が低いことは大きな課題です。きまりを守ることの大切さを、家庭と協同して指導していきます。

